

ものづくりの裏側

2026.6-7

vol.06



Q 品質管理は何をしているの？

印刷の刷り出し時に、版のキズや汚れがないかを確認する「スタート前チェック」を行っています。また、検査装置が検知した欠陥をリスト化し、傾向を把握しています。品質が重視される案件では、各工程で確認もれがないようチェックを重ね、安定した仕上がりにつなげています。

Answer



株式会社マルニ
工務部品質検査課
I.C.さん

Q 良い印刷物のポイントは？



Answer

まず、色が安定していること、文字が読みやすいことが大切です。見本通りの色が再現されていることも重要です。そのほか、印刷位置のズレがないか、断裁や折りが正確か、開きやすいかなど、仕上がり全体のバランスで品質が決まります。

Q 数値化でわかることは？



Answer

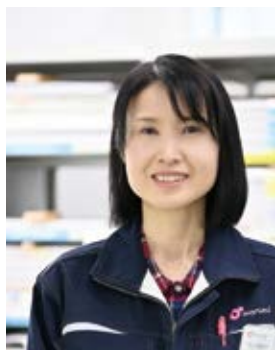
品質管理では、発生した不良を数値として記録・分析しています。どの工程でどんな不良が出やすいかが分かるだけでなく、同じ製品を再度印刷する際の再現性の向上や、トラブルの予兆を早めに把握することにもつながります。

Q 印刷物にはどんな不良がある？

印刷物にはさまざまな不良があります。例えば、色にムラが出る「色ムラ」や、未乾燥による「裏うつり」、小さな抜けが出る「ピンホール」などです。また、製本時にはページの歪み、リーフレットの折りズレといった不具合が発生することもあります。

Answer





工務部品質検査課
I.C.さん (1994年入社)

入社以降、製本課で印刷物の製造に携わり、社内でトップクラスの製本知識を持つ。現在は品質検査課として、安定した製品づくりを支えるほか、製本機械の指導にも携わり、現場全体の品質向上に力を注いでいる。

Interview 06

ものづくりの裏側で考えていることは？

新しい機械と向き合うこと

新しく製本機械を導入するときは、まず私自身が使い方を覚え、その後に他のスタッフへ指導するようにしています。最初に覚えるのは大変ですが、業者の方に細かく質問しながら操作方法を教わります。基本的な使い方を理解した後は、マニュアルを読み込みながらさらに知識を深めていきます。

私が先に機械を覚えてから指導するのは、作業方法を統一するためです。それぞれが自己流で覚えてしまうと、生産性にばらつきが出るだけでなく、機械への負担も大きくなります。そのため、誰が作業しても同じ品質で仕事ができる状態を目指しています。指導の際は、操作方法だけでなく、より効率的なやり方や不良が発生しやすいポイントなど、一歩踏み込んだ内容を伝えるよう心掛けています。

これまで中綴じ機や折り機、無線綴じ機などさまざまな設備を導入してきました。機械選定では、価格だけでなく品質や耐久性、安定性などを

総合的に判断します。評判や実績も参考にしながら、その時々目的に合った最適な機械を選ぶことを大切にしています。

紙の魅力とは

紙は、目に入るだけで自然と情報が伝わる場所に魅力があると思います。興味があったのに忘れていたことでも、紙面で目にとると記憶がよみがえり、そこからさらに調べたり考えたりするきっかけになります。紙は偶然の出会いを生み出してくれる存在だと感じています。

日々紙に触れる仕事をしていますが、製造するときは「きれいに つくること」を常に意識しています。製品そのものの仕上がりはもちろんですが、製造途中でパレットに置くときも、整然と並べれば美しく見えますし、乱雑に扱うと製品を大切にしていないように感じます。紙は目に見える形で残るものだからこそ、仕上がりだけでなく扱い方も伝わるものです。製品そのものはもちろん、製造過程も含めて丁寧に向き合うことが、良い印刷物づくりにつながっていると思っています。

あなたの「作りたい」をお手伝い！

〔印刷物〕

- 会報・広報誌
- 冊子・パンフレット
- チラシ
- フライヤー
- ポスター
- 名刺・カード
- はがき・圧着はがき
- 封筒
- 伝票・帳票
- 商品券
- 記念誌
- 情報誌
- 偽造防止印刷
- 自費出版

〔デジタル制作〕

- ウェブサイト
- SNS 広告

〔屋外広告〕

- 看板・サイン
- のぼり・横断幕

〔ノベルティ〕

- オリジナルメモ帳
- オリジナルノート
- カレンダー
- クリアファイル
- ふせん・シール
- うちわ

〔パッケージ〕

- 紙箱
- 包装紙・紙袋
- ビニールバッグ
- エコバッグ

〔各種サービス〕

- 編集・原稿作成
- 写真撮影
- イラスト作成
- ロゴ作成
- 仕分け・配送
- 宛名印字
- 封入封緘
- アンケート集計

